

Labo News

新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.454 目次

- ◆年頭挨拶 大村秀章……………(1)
- ◆年頭挨拶 吉田 宏……………(2)
- ◆年頭挨拶 中根生弥……………(2)
- ◆役員立候補者公募の結果について……………(3)
- ◆地域ニューリーダー育成研修会に参加して……………(4)
- ◆2019 年度愛知県臨床検査精度管理調査
結果検討会に参加して……………(5)
- ◆一般検査研究班 基礎講座Ⅱに参加して……………(6)
- ◆全国「検査と健康展」2019 報告 ……(7)
- ◆尾張東地区研修会……………(9)
- ◆知多地区研修会……………(9)
- ◆西三河地区研修会……………(9)
- ◆研究会……………(10)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第64回)……………(12)

あけましておめでとうございます。

昨年は、全国植樹祭やラグビーワールドカップ、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」のオープンなどを通じ、愛知のプレゼンスを一層高めるとともに、ジブリパークや愛知県新体育館の整備についても取組を進めるなど、「進化する愛知」としての大きな1歩を踏み出した年でした。

世界は、グローバル化やデジタル化の進展などダイナミックに変化しています。愛知県が、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていくためには、そうした時代の波を乗り越え、新たな付加価値を生み出していかねばなりません。

今年も、様々な国・地域等と連携し、最先端の技術・サービスを取り込みながら、自動車、航空宇宙、ロボットなどの産業集積を加速するとともに、スタートアップを起爆剤にイノベーションを創出していくことで、「国際イノベーション都市」への飛躍を目指してまいります。

また、リニア開業を見据えた社会インフラの整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注ぎ、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会を実現してまいります。

今年は、愛知県で、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、あいち技能五輪・アビリンピック、世界ラリー選手権などが予定されています。万全の準備を整え、国内外に愛知の魅力をPRしてまいります。

こうした取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2020年元旦

新年を迎えて



愛知県保健医療局長
吉田 宏

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

愛知県臨床検査技師会の皆様方には、日頃から本県の保健医療行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会は、昭和62年4月に社団法人として活動を始められ、これまで30年以上の長きにわたり、臨床検査に携わる県内唯一の

技術者集団として、県民の皆様の健康の保持及び増進に御尽力いただくとともに、この地域の医療を支えていただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、近年では医療の高度・専門化が進む中で、ゲノム医療実用化の取組みも積極的に行われており、疾病の早期発見・早期治療が可能となっています。

それに伴い、検体検査は信頼性の高い科学的指標に基づき、迅速に結果を出すことが強く求められるとともに、遺伝子関連検査等の先進的な手法によるものを含む精度の確保が要求されております。

会員の皆様方におかれましては、このような現状を踏まえ、引き続き研鑽に努められ、今後の医療の発展を支える一員として、御活躍いただきますようお願い申し上げます。

本県におきましても、引き続き、県民の皆様の安全で快適な暮らしの実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、皆様方の更なる御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、皆様方の御健康と貴会の御発展を心からお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和2年 元旦

新年のご挨拶



公益社団法人
愛知県臨床検査技師会
会長 中根 生弥

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より愛知県臨床検査技師会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は5月の改元法施行にともない、「平成」から「令和」に改元されましたが、日常生活において何か変化は御座いましたでしょうか？全国各地では、令和元年を祝したイベントや国事行為も多数開催され、新たな幕開けを感じる一年であったかと思えます。また技師会役員も2年目となり、公益法人としての会務も順調に遂行させていただくことが出来たこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、昨年は「医療法等の一部を改正する法律」も施行され、医療機関では保健所による立入調査が実施されました。これは検体検査を実施する全ての医療機関が対象であり、愛臨技会員

施設はもとより、診療所での検査も該当します。臨床検査の品質向上および精度管理の重要性が法律に明文化された意義は大きく、検体検査の総合精度保証を臨床検査技師が実践し、医療分野への貢献の一助になると確信しております。

更に、「医師の働き方改革」を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会が厚生労働省にて開かれ、関連医療団体とのヒアリングを経て昨年末に現行制度での実施可能な業務について公開されました。今後、臨床検査技師の活躍の場は大きく変革し、検査室のみならず多職種連携の中で技師力を発揮し、患者中心の医療において環境変化に対応できる臨床検査技師となれるよう、技師会としても支援する必要があります。

当会は今年度（2020年）、愛臨技創立70周年を迎えることとなりました。これもひとえに、設立当初の熱い思いを後輩に脈々と伝えていただいた諸先輩方のご尽力と愛知県・医師会・病院協会をはじめとする関連諸団体のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。また、愛知県医学検査学会も今年で20回を迎えることより、双方を祝す記念学会として位置付け、企画させていただく予定であります。

最後に、新しい年を迎え、会員一人ひとりが健康であること、そして県民の健康増進に臨床検査技師会として深く関わることを我々の使命とし、学術および職能団体としての力量を十分に発揮してまいります。会員の皆様には、これまで同様に当会の更なる発展のため、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年 元旦

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
役員推薦委員会委員長 橋村 正人

役員立候補者公募の結果について

令和2・3年度の会長及び副会長、監事の役員立候補者は、下記のとおりであり、いずれの役員も立候補者数が定数以内でした。立候補者の資格審査においても問題ないことから、「役員推薦規程」第4章第11条より下記候補者を選挙に依らず次期定時総会へ推薦することと決定しました。なお、役員は総会の決議により選任されます。

記

《会長候補理事立候補者》 中 根 生 弥（JA愛知厚生連 豊田厚生病院）

《副会長候補理事立候補者》 岡 田 元（JA愛知厚生連 安城更生病院）
藤 田 孝（藤田医科大学病院）
夏 目 久美子（岡崎市民病院）

《監事立候補者》 山 崎 正 夫（山崎法律事務所）
中 井 美千代（独立行政法人 労働者健康安全福祉機構
中部労災病院）

以上

地域ニューリーダー育成研修会に参加して

藤田 京子

2014年からの日臨技継続事業である「地域ニューリーダー育成研修会」に今年も参加させていただきました。今年で6年目となる本企画では、1～4期はそれぞれ研修参加者が異なり、私は3期の担当、さらに昨年の5期、今年の6期と、今回で3回目の参加であるため、過去の研修会で苦楽を共にした他県参加者とも連絡を取り合い、事前に情報交換しながら当日を迎えました。

昨年同様、今年の開催地も静岡県熱海市なのですが、開催1週間前に台風19号が熱海に上陸し甚大な被害をもたらしていたため、本当に開催可能なのか心配でした。実際、熱海では台風被害による断水が解消されず、当日もいたるところで給水車による給水活動に遭遇しました。どのホテルも断水による営業停止中にも関わらず、我々の宿泊施設だけは断水を免れ、不幸中の幸いとも言えるのでしょうか、無事に2泊3日の超濃密研修会が開催されました。参加3回目ともなると、超濃密スケジュールにも、相部屋にも驚きません。そんなことより、これまでの研修会で仲良くなった友人たちと1年ぶりに会えることの方が楽しみでした。

研修内容は、宮島会長をはじめ日臨技理事の方々より、我々検査技師を取り巻く環境の変化、養成校での教育、日臨技を新生するためには、など社会情勢や医療情勢を含めたさまざまな講義を受けまし

た。また、今年は新たな取り組みとして外部講師による組織力を高めるための研修も行われ、なぜ組織力強化が必要なのか、人材の大切さ、コーチングの基本的な部分を学びました。全体を通して、新しい令和の時代をどのように生きていくか、といった研修内容でした。これまでの問題解決の手法を学ぶこととはまた別の、非常に啓発される講義ばかりで、日々の業務に前向きに取り組む意欲がわいてくる思いで研修を終えました。

6年間継続した研修会も今回でいったん区切りとなります。これまで複数回参加させて頂いた経験を周囲の方々にお伝えできるよう、全国の仲間との情報交換を密に、我々検査技師の明るい未来のために活動していくことが重要であると感じました。



2019 年度愛知県臨床検査精度管理調査 結果検討会に参加して

総合犬山中央病院 検査科 加藤麻奈美

11月10日にウインクあいちで行われた「2019年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会」の免疫部門に参加させていただきました。

今回の精度管理調査で当院はCA19-9測定結果に問題があり参加対象とのことでした。原因は測定日のコントロール値が添付文書に記載されている範囲内ではあるものの、普段より高めであったにも関わらず、そのまま測定し報告してしまったことでした。

検討会ではメーカーが提示しているコントロール値はかなり幅広く設定されている事、コントロールをロット変更前に事前に測定し、自施設としての内部精度管理幅を設定することの重要性を教えてくださいました。

ただ、コスト面でコントロールを変更前に測定しておくことは問題があるため、しばらく測定した後、そのデータを使い、改めて内部精度管理幅を設定するなどのアドバイスもいただきました。2次サーベイでは是正を確認できたのも大変ありがたいです。



精度管理調査以外の質問についても、他の施設の方を交えて色々なご意見を聞かせていただき、今回このような場に参加させていただき大変勉強になりました。

今後の院内での内部精度管理に生かしていきます。

2019 年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会に出席して

医療法人葵鐘会 臨床検査部 安居 直

葵鐘会は地域の特性に応じた産科医療施設を愛知県と岐阜県に整備し、「ベルネット」として連携を図っています。今回、葵鐘会各施設の院内検査について、精度の向上を目的として愛知県臨床検査精度管理調査に参加し、11月10日(日)に開催された結果検討会に出席してきました。葵鐘会には臨床検査技師が配置されていない施設もあり、病院検査室とはまた違った環境でもあります。愛知県臨床検査技師会の外部精度管理調査事業への参加は、今回で3回目となりますが、検討会では部門担当の方々が悩みや課題について耳を傾けてくださり、意見交換を行うことができ有意義な時間を与えてくださいました。後日早々に、相談内容に関する資料を送付いただけ、早速改善に向けての準備をすすめることが出来ています。今後も、ベルネット全施設について精



度管理の維持・向上に努めるため、この事業への参加を継続し、ご指導いただきたいと考えております。

一般検査研究班 基礎講座Ⅱに参加して

社会医療法人宏潤会 大同病院 福田英里香

令和元年11月3日(日)に藤田医科大学で開催された一般検査研究班基礎講座Ⅱに参加させていただきました。私は臨床検査技師1年目で経験も浅く、特に沈渣の難しさを痛感しております。

今回の基礎講座は、午前中は講義、午後は実習を行いました。午前中の講義1では尿沈渣で見られる正常細胞の特徴や、類似している細胞の見極め方を学びました。更に、異型細胞の特徴や出現しやすい状況なども分かりやすく説明していただきました。講義2では髄液検査の基礎知識や検体の取り扱い方、検査の意義を学ぶことができました。午後の実習は、尿沈渣の基礎成分の標本の鏡検や、様々な症例を自身で鏡検しその結果から病態を考察するという内容でした。他にも、尿定性偽陽性時の確認試験、髄液細胞数算定なども実際に行いました。基本的な細胞形態や髄液検査の復習にもなりまし、特に類似細胞の見極め方がとても分かりやすかったため、一般検査の基礎や知識を深めるために有意義だったと感じました。また症例では、検査値と沈渣から病態を考えることが難しく感じ、その関連付けができるように今後学んでいきたいと思ひます。当院では日当直時の尿沈渣はすべて目視報告しているため、今回学んだことを生かして標本をたくさん鏡検して沈渣の結果報告を迅速かつ正確に報告できるようにしていきたいと思ひます。

最後に、基礎講座を開催していただいた一般検査研究班の方々にこの場を借りて心より御礼申し上げます。



2019年12月9日現在 正会員数 3,441名

全国「検査と健康展」2019 報告

組織部長 刑部 恵介

11月17日(日)にイオンモール熱田にて“検査と健康展”を開催しました。臨床検査体験コーナーとして、子供たちには白衣を着て尿検査(尿量、定性など)、細胞検査(血液、癌)および超音波検査をクイズ形式で体験してもらいました。また、無料健康チェックコーナーでは骨密度、血管年齢測定を実施し臨床検査技師による結果説明は人気でした。今後も臨床検査についての正しい知識とその普及・啓発および今後を担う子供たちに臨床検査に興味をもって頂くため活動していきたいと思います。なお、今年度はボランティアとして15名の会員に加え、臨床検査技師を目指す学生さん1名も参加して下さいました。この書面をもってお礼申し上げます。

『検査と健康展』に参加して

JA愛知厚生連 豊田厚生病院 寺坂 明香、浅井 梨乃

2019年11月17日(日)、イオンモール熱田店で開催された愛知県臨床検査技師会主催の「検査と健康展」に参加しました。今回は同期と一緒に、尿定性検査を担当させていただきました。尿定性検査のブースでは、疑似検体と尿試験紙を用いて、来場していただいた方に試験紙の色の変化を判定させていただきました。様々な年齢層の方が来られたため、その方に合わせた説明の仕方が求められました。私たち自身が初めての参加ということもあり、はじめは緊張して分かりやすく説明できているか不安でしたが、回数を重ねるうちに慣れていき、スムーズに説明をすることが出来るようになりました。さらにその方に合った対応に心がけ、より伝わりやすいように工夫し、臨床検査技師の仕事について興味を持ってもらうためにはどのように伝えればよいかということにも意識しました。

ご自身の健康に興味がある方が多く、検査の結果や解釈についてたくさんの質問をいただきました。また、臨床検査技師の仕事内容についても質問があり、一人でも多くの方に臨床検査技師について知っていただける良い機会となり嬉しく思いました。今後もこのようなイベントに積極的に参加し、多くの方々に臨床検査技師について知って頂けるように努めていきたいと思います。



『検査と健康展』に参加して

藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科 3年 梅村 美穂

「検査と健康」展に参加し、臨床検査技師会の活動について身をもって学ぶことができました。今まで、学校で技師会の名前を何度か耳にしましたが、何を行っている組織なのか知りませんでした。しかし、臨床検査技師となった後、自分はこういった技師になりたいのか、そして技師の方々はこういったことをなされているのか疑問に思い、今回参加させていただきました。

イベントには複数の病院から技師の方が参加され、病院の垣根を越えてグループを組み、来場された方に検査説明をなさっていました。私も病理検査のグループで子供たちに説明をしましたが、普段使っている単語が伝わらず、説明することの難しさを痛感しました。しかし、技師の方々は丁寧にわかりやすく説明なされており、病院での患者さんへの対応や検査説明に通ずるものを感じました。また、技師の方とお話する機会があり、学会であったり、それぞれの病院の違いであったり、学校では知りえないことを教えていただきました。このイベントに参加させていただき、臨床検査技師や様々な検査の存在を、来場された方々に伝えることができたと思います。しかし、こういった活動を臨床検査技師は行っていることを知らない学生は多くありません。今後、学生が技師会の活動を学ぶ機会があれば幸いです。

最後に、学生ボランティアとしての参加に際し、お世話になりました臨床検査技師の皆様、ありがとうございました。今回学んだことを生かして、自分の目指す臨床検査技師の在り方をより深く考えたいと思います。



尾張東地区研修会

基礎教科：20点

日時：2020年2月1日(土) 15:00～17:00

場所：愛知医科大学本館 302講義室

テーマ：医療法改正のQ&A（よろずセミナーを
基に）と簡易呼吸モニターの実際

講師：

1. 医療法改正のQ&A

愛知医科大学病院

佐野 俊一

2. 簡易呼吸モニターの実際

愛知医科大学病院

今井 正人

司会：日進おりど病院

小木曾美紀

内容：医療法等の一部を改正する法律の一部規定が施行され、各施設では、各種標準作業書・作業日誌・台帳の作成が義務付けられました。愛知県臨床検査標準化協議会（AiCCLS）では「医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー」を開催し保健所の立ち入り検査に対応できるように講習を行いました。今回の研修会ではよろずセミナーで参加者からいただいた質問とその回答を提示して解説します。また、睡眠時無呼吸症候群の診断に用いられる簡易呼吸モニターについて基本的な内容をお話します。

知多地区研修会

基礎教科：20点

日時：2020年2月28日(金) 18:30～20:30

場所：常滑市民病院

1階 とこなめホール

テーマ：私の原点

～知多地区で学んだこと、伝えたいこと～

講師：公立西知多総合病院

加藤 節子

司会：半田市立半田病院

村瀬 斉

内容：講師が長年、検査業務に携わる中で心がけてきたこと、経験したことを我々に伝えていただきます。

西三河地区研修会

基礎教科：20点

日時：2020年2月29日(土) 15:00～17:00

場所：八千代病院 新棟2階大会議室

テーマ：検査環境の整備と検査業務の改善方法
講師：

1. 病院移転

～新しい病院のあり方と検査環境の整備～

小牧市民病院 臨床検査科

藤井 孝之

2. QC手法

～検査業務の効率化と精度向上を目指して～

トヨタ記念病院

人づくり・カイゼン推進本部

伊藤 勝浩

事例発表

トヨタ記念病院 臨床検査科

廣田 元紀

司会：西尾市民病院

中村 広基

内容：昨今、検査環境も機械化やシステム化が進んでおり大きく変化しています。しかしながら旧来の施設設計から電源や場所の確保など理想的な検査環境を実現することは困難です。今回、現在求められている病院を知り、病院移転時の環境整備の工夫やQC手法を理解できるよう企画しました。ぜひ本講演会で、安全かつ効率的な検査環境整備方法について学び議論して、施設の業務改善に活かしてください。多数の参加をお待ちしております。

研 究 会

生物化学分析検査研究班

基礎教科：20点

【愛臨技精度管理事業】

日時：2020年2月1日(土) 15:00～17:00

場所：株式会社スズケン名古屋支店 2F会議室

名古屋市東区東片端町1（久屋大通駅）

テーマ：「令和元年度愛臨技精度管理報告」

「がんと腫瘍マーカー」

講師：

1. 臨床化学部門 精度管理報告

愛知医科大学病院

森部 龍一

JA愛知厚生連 豊田厚生病院

高井 美帆

2. 免疫血清部門 精度管理報告

名古屋掖済会病院

岡本 明紘

3. がんと腫瘍マーカー

アボットジャパン株式会社

中日本営業部 テクニカルスペシャリスト 櫻井 崇

司 会：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 神谷 美聡
豊橋市民病院 森下 拓磨

内 容：令和元年度愛知県精度管理調査の解析結果について詳細報告します。また講演では、腫瘍マーカーについての基礎～精度管理、標準化などを解り易く解説します。多数の参加をお待ちしております。

研 究 会

一般検査研究班

基礎教科：20点 【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月8日(土) 15:00～17:30

場 所：名城病院 地下大講義室

テ ー マ：愛臨技精度管理事業報告会一般検査部門
～一般検査の精度管理今昔～

講 師：

1. 愛臨技一般検査部門精度管理報告会

特定医療法人衆済会 増子記念病院 平田 弘美

藤田医科大学病院 長瀧 和子

公立西知多総合病院 服部 聡

JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須賀大輔

2. 一般検査の経験から見たもの、感じたもの

名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

3. 一般検査に携わって得たもの

～26年のあゆみの中で～(仮)

公立西知多総合病院 加藤 節子

司 会：特定医療法人衆済会 増子記念病院

平田 弘美

JA愛知厚生連 豊田厚生病院 鈴木 康太

内 容：愛知県臨床検査技師会精度管理事業一般検査部門報告会を開催いたします。フォトサーベイの内容を中心に解説いたします。また、今と昔の精度管理の違いや検査の違い、一般検査技師に必要なスキル・考え方について長年一般検査に携わってきた技師に講演していただきます。皆様の参加をお待ちしております。

研 究 会

輸血検査研究班

基礎教科：20点 【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月8日(土) 15:30～17:30

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階

リップルスクエア

テ ー マ：「精度管理報告会

～他施設の内部精度管理について学ぼう～」

講 演 1：「2019年度精度管理調査報告」

半田市立半田病院 森本奈津代

講 演 2：「輸血部門の内部精度管理と実際」

日進おりど病院 小木曾美紀

「当院の内部精度管理について」

愛知医科大学病院 林 恵美

司 会：JA愛知厚生連 江南厚生病院 原田 康夫

内 容：講演1. 2019年度の愛臨技精度管理調査報告および参加施設における輸血検査の現状や検査上注意を要するポイント、設問等の解説をします。

講演2. 大規模病院と小規模病院の2つの立場から、内部精度管理について紹介します。他施設の現状を知り自施設の内部精度管理をよりよくする良い機会になると思います。多くの参加をお待ちしています。

研 究 会

微生物検査研究班

基礎教科：20点

【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月15日(土) 15:30～18:00

場 所：名古屋大学 医学部基礎研究棟

第2講義室

テ ー マ：微生物検査における精度管理を今一度考える

講 演 1：2019年度愛臨技精度管理報告

JA愛知厚生連 江南厚生病院 河内 誠

講 演 2：抗酸菌染色の精度管理について

公立陶生病院 位田 陽史

講 演 3：みんなで考えよう！目合わせクイズ

刈谷豊田総合病院 藏前 仁

愛知医科大学病院 坂梨 大輔

司 会：愛知医科大学病院 坂梨 大輔

内 容：講演1では、2019年度愛臨技精度管理調査結果を詳細に報告・解説します。また感染症法について、解釈に注意を要する内容や近年の変更点について併せて解説します。講義2では、抗酸菌染色の精度管理について解説します。講演3では、全員参加型の目合わせクイズを実施し、

即時集計結果を開示しながら解説予定です。目合わせクイズは携帯電話を使用しますので、ご持参ください。多数のご参加をお待ちしております。

また日常業務の中で、精度管理をはじめお困りのことは多々あるかと思えます。皆さまのお悩みやご質問について気軽に話してできるよう、研究会開催前の14:00～15:00に相談会を開催致します。参加は任意です。どうぞお気軽にご参加ください！

研 究 会

血液検査研究班

基礎教科：20点 【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月15日(土) 15:00～17:00

場 所：スズケン名古屋支店

名古屋市東区東片端町1

テ ー マ：講演1. 2019年度精度管理調査結果報告
講演2. 血液検査運用について

講 師：

- 『2019年度血液部門精度管理調査報告』
～血球計数検査・形態検査・凝固検査・アンケート結果～
国立病院機構 名古屋医療センター

棚橋真規夫

JA愛知厚生連豊田厚生病院

蒲澤 康晃

- 『どんなときに塗抹標本を引くのか？』

～運用やマニュアルの観点から～

名古屋大学医学部附属病院

亀山なつみ

司 会：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

宮本 康平

内 容：講演1では血液部門における2019年度精度管理調査結果の詳細報告を担当者から行います。講演2では血液検査に関する運用やマニュアルの中でも、血液像の標本作製に関していくつかの施設の事例を紹介し分析します。

研 究 会

病理細胞検査研究班

基礎教科：20点 【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月15日(土) 15:00～17:00

場 所：リップルスクエア

名古屋市東区桜1-1-10

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通（地下鉄名城線）出口3B

テ ー マ：令和元年度愛臨技精度管理事業
病理検査業務における新人教育

講演1：精度管理報告 細胞部門

公立陶生病院

柚木 浩良

講演2：精度管理報告 病理部門

藤田医科大学病院

川島 佳晃

講演3：職場における新人教育の現状について

名古屋第二赤十字病院

長田 裕之

講演4：卒前教育における臨地実習について

名古屋大学大学院

橋本 克訓

司 会：小牧市民病院

藤田 智洋

内 容：令和元年度愛臨技精度管理調査の結果解説を行います。また、病理検査業務における新人教育として現場での教育方法と養成校での教育方法について解説して頂きます。各施設での新人教育、臨地実習生教育の参考にして下さい。皆様のご参加をお待ちしています。

研 究 会

生理検査研究班

基礎教科：20点

【愛臨技精度管理事業】

日 時：2020年2月15日(土) 15:00～17:00

場 所：名古屋市立大学医学部研究棟11階講義室B

テ ー マ：2019年度生理検査精度管理調査報告

講 師：

1. 生理検査精度管理調査報告 総括

豊橋市民病院

手嶋 充善

2. 心電図検査

名古屋第一赤十字病院

倉田 貴規

3. 腹部・表在超音波検査

愛知医科大学病院

塚本実奈子

4. 心・血管超音波検査

JA愛知厚生連 安城更生病院

犬塚 齊

5. 脳神経検査

トヨタ記念病院

鍋谷 洋介

6. 呼吸機能検査

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

鈴木 優大

司 会：豊橋市民病院

手嶋 充善

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第64回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、リーフレット「愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法 グロコット染色 改訂版」についてご紹介いたします。

グロコット染色は多種の真菌の菌壁を黒色に染色し、放線菌やノカルジア、ムコール菌など染まりにくいとされる真菌にも適する染色であり、診断上重要な染色です。本リーフレットはグロコット染色の推奨染色法と染色液および試薬の調製について、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法（1） グロコット染色改訂版

グロコット染色は多種の真菌の菌壁を黒色に染色し、放線菌やノカルジア、ムコール菌など染まりにくいとされる真菌にも適する染色であり、診断上重要な染色である。クロム酸で真菌の細胞壁に含まれる多糖類を酸化し、遊離したアルデヒド基にメセナミン銀を反応させ菌体を染色する。コントラストをつけるため4～6ミクロンの少し厚めの切片での標本作製が推奨される。

推奨染色法

1. 脱パラフィン・水洗
2. 5%クロム酸水溶液 60分 注1)
3. 水洗 3分
4. 1%重亜硫酸ナトリウム水溶液 1分
5. 精製水 10分
6. メセナミン銀染色液 60℃ 60～70分 注2)
7. 精製水 注3)
8. 0.2%塩化金酸水溶液 5分
9. 精製水
10. 2%チオ硫酸ナトリウム水溶液 2分
11. 水洗
12. ライトグリーン染色液 1分
13. 水洗 注4)
14. 脱水・透明・封入

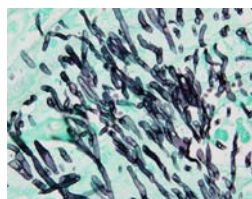
染色液および試薬の調製

- 【5%クロム酸水溶液】
- | | | | |
|---------|--------------|-------|--------------|
| ・無水クロム酸 | 5 g | ・塩化金酸 | 0.2 g |
| ・精製水 | 100 mL | ・精製水 | 100 mL |
- 【メセナミン銀染色液】（使用時調整）※1
- | | | | |
|---------------|------------------|------------------|--------------|
| ・3%メセナミン水溶液 | 25 mL | 【1%重亜硫酸ナトリウム水溶液】 | |
| ・5%硝酸銀水溶液 | 1.25 mL | ・重亜硫酸ナトリウム | 1 g |
| ・精製水 | 25 mL | ・精製水 | 100 mL |
| ・5%ホウ砂水溶液 | 2 mL | 【2%チオ硫酸ナトリウム水溶液】 | |
| ・1%ゼラチン水溶液 ※2 | 0.5 mL 注5) | ・チオ硫酸ナトリウム | 2 g |
- ※1 3%メセナミン水溶液に5%硝酸銀水溶液を添加（添加直後の液は白濁するが、混合すると透明になる）
注6）。次に精製水と5%ホウ砂水溶液を加え混合する。最後に1%ゼラチン水溶液を加え使用液とする。調整された混合液は無色透明である。
- ※2 加温しないと溶けない。
- 【ライトグリーン染色液】※3
- | | |
|---------------|--------------|
| ・ライトグリーン S.F. | 0.5 g |
| ・酢酸 | 0.2 mL |
| ・精製水 | 100 mL |
- ※3 精製水にライトグリーン S.F.を溶解し、酢酸を加える。

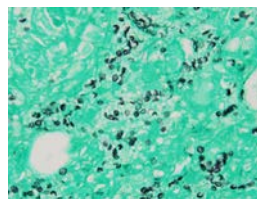
Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

染色結果

真菌の菌壁、イロペチー：黒色
背景：淡い緑色



アスペルギルス 対物×100



イロペチー 対物×100

注1）本処理による酸化が不十分であると背景の共染が強く、過酸化では生じたアルデヒド基がカルボン酸基まで酸化が進むため、菌体のメセナミン銀との反応が低下し真菌の染色性が落ちる。

また、クロム酸は毒性が強いため廃液の処理が必要である。

注2）切片を入れてからおおよそ20分後に取り出し、切片に付着した気泡を取ることで染色ムラを防止する。途中、顕微鏡で十分に菌壁が黒色に染まっていることを確認する。チオ硫酸ナトリウムで定着するとかなり脱色されるため、真菌が十分に黒色に染まり結合糖がわずかに染色された時点で反応停止するとよい。（右写真）
染色液を事前加温した場合は、反応時間が短縮できる。
染色液には銀を含むため、廃液の処理が必要である。

注3）本処理により次工程の塩化金酸液は汚れず沈殿物もほとんど認められない。そのため繰り返し使用することが可能となる。

注4）水洗は余分な色素が落ちる程度で良い。

注5）ゼラチンには、銀イオン/同士の間にゼラチン蛋白が入り込むことにより、一度に多くの銀イオンが連鎖反動的に還元されて起こる非特異的染色を抑制する効果、またスライドガラス上への銀粒子の沈着を抑制する効果がある。
アルブミンでも同様の効果が得られるが、反応に時間がかかる、高濃度では染まらなくなるなど注意が必要である。

注6）メセナミン銀原液（3%メセナミン水溶液と5%硝酸銀水溶液の混合液）は、冷蔵庫で保存すれば数か月間使用する事も可能である。

参考文献

- 1）三浦妙太、ほか：実践 病理組織細胞診染色法カラー図鑑 第三版。東京：近代出版；2008、123-127

【発行者】 愛知県臨床検査標準化協議会（AiCCLS） 病理検査部門
【問い合わせ先】 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目16番17号 花車ビル南館1階
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会事務所内 愛知県臨床検査標準化協議会事務局
Tel 052-581-1013 Fax 052-586-5680 2016.10. Ver.1
Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization